



バレーボール部

■ 1934年(昭和9年)公認

部員数

57名



部長
上野 達弘
法学学術院
教授

早稲田大学バレーボール部が、男女それぞれに個性を發揮しながら、早稲田らしくコート内外で規律を保って真摯に取り組み、大学生時代を通じて、バレーボールを通じた人間形成を深めている皆さんのことを誇らしく思っています。

そして、卒業される4年生には心からお祝いを申し上げますと共に、将来のますますのご発展を祈ります。

最後に、早稲田大学バレーボール部を応援していただいているすべての皆さんに改めて御礼申し上げますと共に、引き続きのご支援をお願い申し上げます。



監督
松井 泰二
スポーツ科学学術院
准教授

今年度は、前田、板垣、梶村、畑、横山の5名の構成である。鍛錬期は基礎基本練習を徹底的にこなした。4年生が中心となり、春季リーグと秋季リーグは優勝、黒鷲旗でも大学勢として初優勝することができた。練習は懸命におこなっており、4年生のリーダーシップが発揮されている。全日本大学選手権は多くのプレッシャーの中、「全部出せ」ば結果はおのずか決まる。最終日は多くの疲労を抱えての大会である。4年生は責任感が強く、しかもとても性格が良い学生であるので素晴らしいチームができた。これを見るのは、結果がでているが新しい歴史を作っているだろう。ほんとうにありがとうございます。高みを目指して将来の活躍を期待している。



主将
前田 凌吾
スポーツ科学部
清風

今年度の最後の目標は全日本インカレで優勝することです。この目標を達成し、今までご声援していただいた方々と喜びを分かち合えるよう感謝の気持ちを持ち取り組みたいです。スタッフの皆様、OB・OGの皆様、関係者の皆様、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。



主務
板垣 慧
政治経済学部
洛南

今年度は、昨年から新たな戦力も加わり、各ポジションで切磋琢磨しながらチームの強化に努めてまいりました。

春季リーグ戦では優勝を果たした一方で、東日本インカレでは悔しい結果となりました。その課題に真摯に向き合い、チームとして「異常を極める」ことを目指しながら取り組んだ結果、秋季リーグ戦では優勝を取ることができました。

全日本インカレでの優勝という目標に向け、最後の瞬間まで全員で戦い抜きます。

これまでご支援・ご声援を賜りましたスタッフの皆様、OB・OGの皆様、大学関係者の皆様により感謝申し上げます。



女子部門監督
馬場 泰光

新体制スタート時は選手8名、学生スタッフ4名の12名で、怪我人が出る試合を兼ねすることも想定される厳しい状況でした。しかし、4月以降12名の新入部員が加わり、部員数は24名に倍増。活気が増し、秋季リーグ戦では新入生たちの活躍が見られる成長を見せてくれました。競技成績は目標とするものには届きませんでしたが、山崎主将、林副将、中河主務、西室アナリスト、林の4年生5名が中心となり逆境に負けず挑戦し続ける姿は、多くのご声援を頂ける魅力溢れるチームになったと思います。これからの人生でこれらの経験を自身を支える基盤にしてもうえればと思います。4年間お疲れさまで。卒業おめでとうございます。



女子部門主将
山崎 葵
社会科学部
就実

本年度、私たちは「W」をスローガンに掲げ、一部昇格を目指して練習に取り組みできました。一年間、この目標に向かって全員で挑んできましたが、納得のいく結果を得ることはできませんでした。それでも、目標に向かって全力で走り抜けてきた時間に悔いはありません。四年間、バレー部で過ごした時間は、自分にとって本当にかげがえのないものでした。思うように結果が出ず悔しい日も、チームとして成長を実感できた日も、そのすべてが今の自分をつくってくれたと感じています。最後まで仲間と全力で戦えたことを誇りに思います。これまで支えてくださった全ての皆さんに心より感謝申し上げます。四年間、本当にありがとうございました。



女子部門主務
中河 果子
法学部
大妻

今年は、「リーグ戦優勝、全日本インカレで3勝」という目標掲げ、新体制をスタートいたしました。しかし結果はほど遠く、全日本インカレへの出場も果たすことができませんでした。練習の成果を十分に発揮し、勝利を重ねる機会には惜かでしたが、昨年より倍に増えた部員とともに、活気に満ちた環境で鍛錬に励んだ日々は、非常に充実した1年間だったと感じております。年間を通して、試合会場にも多くの方々にご来場いただき、ご声援をいただきましたこと、御礼申し上げます。そして、スタッフの皆様、OB・OGの皆様、大学関係者の皆様をはじめ、これまで活動を支えてくださった全ての皆様により感謝申し上げます。ありがとうございます。



本年度試合戦績

成績(早稲田勝利:○、引き分け△、敗戦●)

(男子)

◇2025年度 春季関東大学男子1部バレーボールリーグ戦 (4月12日～5月24日)

- 優勝(10勝1敗)
 - ▷東京学芸大学(○3-0)
 - ▷法政大学(○3-0)
 - ▷駒澤大学(○3-0)
 - ▷国士館大学(○3-0)
 - ▷筑波大学(○3-1)
 - ▷専修大学(○3-0)
 - ▷順天堂大学(○3-2)
 - ▷日本体育大学(○3-0)
 - ▷中央大学(●2-3)
 - ▷東海大学(○3-1)
 - ▷明治大学(○3-1)

◇第73回黒鷲旗男女選抜バレーボール大会 (5月3日～6日)

- 優勝
 - ▷つくばユニテッドSunGaia(○2-0)
 - ▷奈良ドリーマーズ(○2-0)
 - ▷専修大学(○3-0)
 - ▷日本体育大学(○3-0)
 - ▷富士通力ワサキレッドスピリッツ(○3-1)

◇第89回早慶バレーボール定期戦 (6月8日)

- 優勝
 - ▷慶應義塾大学(○3-1)

◇第44回東日本バレーボール大学選手権大会 (6月24日～28日)

- 準々決勝敗退
 - ▷山梨学院大学(○3-0)
 - ▷東海大学札幌校舎(○3-0)
 - ▷東京学芸大学(●2-3)

◇2025年度秋季関東大学男子1部バレーボールリーグ戦 (9月6日～10月25日)

- 優勝(10勝1敗)
 - ▷駒澤大学(○3-0)
 - ▷専修大学(○3-2)
 - ▷日本体育大学(●2-3)
 - ▷国士館大学(○3-0)
 - ▷東京学芸大学(○3-0)
 - ▷法政大学(○3-2)
 - ▷中央大学(○3-2)
 - ▷東海大学(○3-0)
 - ▷筑波大学(○3-0)
 - ▷明治大学(○3-2)
 - ▷順天堂大学(○3-1)

◇令和7年度天皇杯JVA全日本バレーボール選手権大会 関東ブロックラウンド (9月21日)

- ブロックラウンド通過 ファイナルラウンド進出
 - ▷トヨタモビリティ東京スパークル(○2-0)
 - ▷東海大学(○2-0)

◇第76回全早慶明バレーボール定期戦 (11月8日)

- 優勝
 - ▷慶應義塾大学(○2-0)
 - ▷明治大学(○2-1)

◇第76回早関バレーボール定期戦 (11月29日)

- 優勝
 - ▷関西学院大学(○3-0)

◇第78回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会 (12月2日～7日)

- 優勝
 - ▷びわこ成蹊スポーツ大学(○3-0)
 - ▷北海道大学(○3-0)
 - ▷日本体育大学(○3-0)
 - ▷中京大学(○3-0)
 - ▷近畿大学(○3-0)
 - ▷国士館大学(○3-0)

◇令和7年度天皇杯JVA全日本バレーボール選手権大会 ファイナルラウンド (12月11日～)

- 1回戦敗退
 - ▷アイシンティルマール碧南(●1-3)

(女子)

◇2025年度春季関東大学女子2部バレーボールリーグ戦 (4月13日～5月18日)

- 第10位
 - ▷立教大学(●0-3)
 - ▷都留文科大(●0-3)
 - ▷神奈川大学(●1-3)
 - ▷大東文化大学(●1-3)
 - ▷平成国際大学(●2-3)
 - ▷国際武道大学(○3-0)
 - ▷中央大学(●0-3)
 - ▷松蔭大学(●0-3)
 - ▷山梨学院大学(○3-1)
 - ▷国士館大学(●0-3)
 - ▷江戸川大学(○3-2)

◇第89回早慶バレーボール定期戦 女子戦 (6月8日)

- 優勝
 - ▷慶應義塾大学(○3-0)

◇第44回東日本バレーボール大学選手権大会 (6月18日～20日)

- 予選グループ戦
 - ▷日本女子体育大学(●0-2)
 - ▷東北学院大学(○2-0)

決勝トーナメント戦 1回戦敗退

- ▷山梨学院大学(●1-2)

◇第3回早関バレーボール定期戦 女子戦 (8月23日)

- 準優勝
 - ▷関西学院大学(●1-3)

◇2025年度秋季関東大学女子2部バレーボールリーグ戦 (9月13日～10月19日)

- 第10位
 - ▷大東文化大学(●0-3)
 - ▷松蔭大学(●0-3)
 - ▷嘉悦大学(●0-3)
 - ▷中央大学(●2-3)
 - ▷立教大学(●0-3)
 - ▷都留文科大(●1-3)
 - ▷神奈川大学(●0-3)
 - ▷國學院大学(○3-1)
 - ▷山梨学院大学(●0-3)
 - ▷中央学院大学(○3-0)
 - ▷江戸川大学(●2-3)